

編集・発行 栃木県農地・水・環境保全向上対策推進協議会 〒321-0901 宇都宮市平出町 1260 水土里ネットとちぎ
 TEL:028-660-5702 FAX:028-660-5711 E-mail:kaiinshien@tcgdoren.or.jp URL:http://www.tcgnochimizu.net/

トピックス

平成21年度の 主な活動状況

平成21年度の取組は、各活動組織において、更なるグレードアップに向けた様々な活動が実践されました。ここで主な実績を紹介しますので、さらに質的・量的向上及び組織運営の充実強化に努めていきましょう。

共同活動の取組状況

市町数	活動組織数	上段：協定面積 下段：交付金対象面積 (ha)			
		計	田	畑	草地
29	375	30,069	26,435	3,602	32
		28,327	25,261	3,034	32

県全体の農振農用地面積に占める取組面積の割合は27%となっています。(協定面積は、全国第15位)

営農活動の取組状況

活動組織数	52組織(72区域)				
作物	面積 (ha)	面積割合 (%)	作物	面積 (ha)	面積割合 (%)
水稻	1,640.2	93.3	施設野菜	2.1	0.1
麦・大豆	20.2	1.2	果樹・茶	1.8	0.1
葉茎菜類	5.4	0.3	飼料作物	87.8	5.0
果菜類・果実的野菜	0.7	0.0	計	1,758.1	100.0

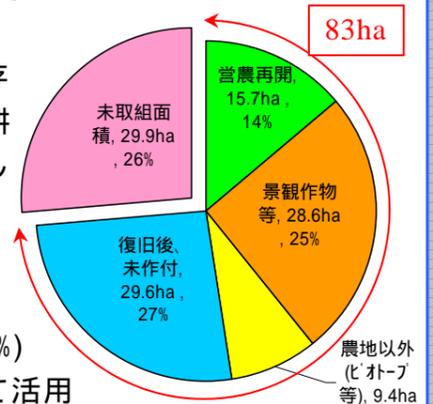
遊休農地の解消・活用

約113haの遊休農地が存在し、共同活動で83haを耕作可能な状態に復旧しました。

- ・営農の再開(約14%)
- ・景観作物の植栽等(約25%)

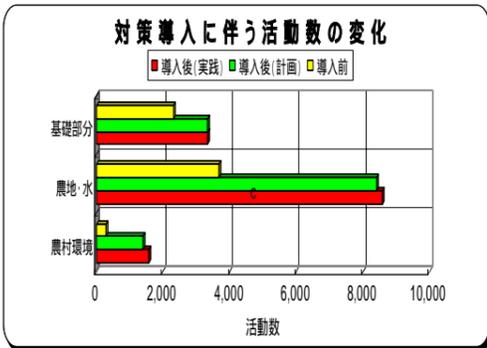
そのうち、
 ・営農の再開(約14%)
 ・景観作物の植栽等(約25%)
 その他、ビオトープとして活用するなど、各地域で工夫した取組が実施されています。

一方で、土地の所有者や地域意識の関係から、約26%の農地は、復旧に至っていません。



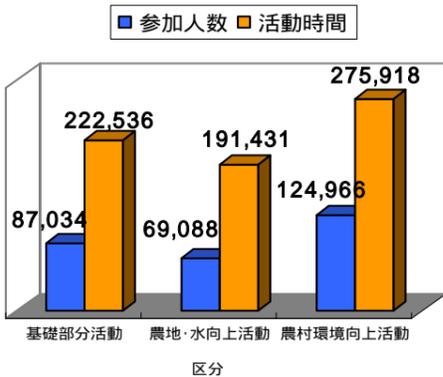
参加者の状況

活動の状況



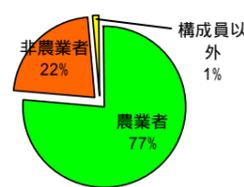
対策導入前に比べ「基礎部分活動が1.4倍」「施設補修等を中心とした農地・水向上活動が2.3倍」「農村環境の向上に向けた活動が5.5倍」実践されました。

活動の「のべ参加者数」「時間数」の状況

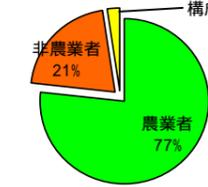


延べ参加者数は28.1万人、69.0万時間となっています。参加者の内訳は、基礎部分活動及び農地・水向上活動で農業者が8割、非農業者が2割、農村環境向上活動で農業者が5割、非農業者が4割、構成員以外が1割でした。

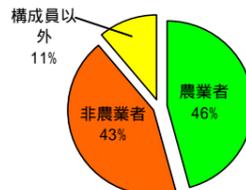
基礎部分活動の参加者内訳



農地・水向上活動の参加者内訳



農村環境向上活動の参加者内訳



共同活動支援交付金の支出内訳



支出の内訳は、日当39%、購入リース費27%、委託費11%等となっており、約9%が平成22年度に繰り越されました。

～ 本年度の重点的な取組方針 ～

農地・水・環境保全向上対策のグレードアップに努めましょう

アドバイザー等を活用しながら、**地域の施設補修等に関する技術力を高め**、取組の自立化をめざしましょう。

他地区との連携や**都市住民との交流**で活動を充実させましょう。

日当や役員報酬の支払いを抑制し、**施設補修や農村環境の向上活動に優先して充て**ましょう。

将来の地域づくりに向けて、**地域の話し合いを充実**させましょう。

活動参加者の募集支援

県協議会ホームページでは、**各活動組織の活動に対して一般の参加者を募集できるしくみ**を用意しています。詳しくは県協議会へお問い合わせください。

都市部に居住する人々には、農村の豊かな環境保全活動に興味を持っている人が大勢います。また、都市部の人々との交流により、自分達では気付かなかった地域資源の発見や工夫ある活動企画など様々な地域活動の向上が期待できます。

体制整備構想(案)の策定の取組

体制整備構想(案)策定の取組を通して、地域の将来像に係る話し合いの実施など、自立化に向けた意識が醸成されつつあります。

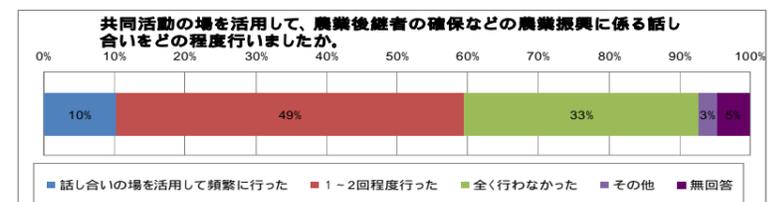
平成21年度末現在、311組織が策定しました。



様々な職業の幅広い年齢層(27～73歳)を構成員とする運営委員会を設置し8回話し合いを通して、地域の将来像や保全体制が明確化されました。

三区町環境保全隊(那須塩原市)

(H21.12月 活動組織アンケートより)



地域における話し合いは、全体として十分でない状況です。

本年度の主な行事

活動組織説明会（終了しました）

共同活動、営農活動、生きもの調査の説明会を県内3会場で行いました。

（5月26日から5月28日）

説明会には、342活動組織から1,163名の方が参加し、本年度の活動内容等について説明を行いました。また、具体的な内容についての質問や要望が出され、活発な意見交換が行われました。



那須塩原市三島ホール



小山市文化センター大ホール

道の駅での啓発パネルの展示

豊かな農業・農村を未来の子どもたちに
～ 栃木県における農地・水・環境保全向上対策の取組事例～

栃木県における取組状況を多くの人に知っていただくための広報活動の一環として、道の駅展示コーナー等においてパネルの展示を行っています。近くにお立ち寄りの際は、是非ご覧ください。

また、各活動組織の取組状況についても様々な機会や場所を活用し、積極的なPRに努めましょう。



道の駅ばとうの展示風景

実施期間	道の駅名	市町名
6/1 ~ 6/8	ばとう	那珂川町
7/23 ~ 8/2	にのみや	真岡市
8/19 ~ 8/27	那須与一の郷	大田原市

農地・水・環境保全向上対策 グレードアップ推進講座

～ 田んぼまわりの生きもの調査インストラクター養成講座～

地域自らが、多くの人々の参画を得ながら、継続して、今より一層充実した生きもの調査に取り組めるよう促進するため、以下のインストラクター養成講座を開催します。

参加対象者：農地・水・環境保全向上対策に係る活動組織の構成員

第1回講座 8月20日（金）：生きもの調査と同定方法【その1】～水生生物～

第2回講座 10月7日（木）：生きもの調査と同定方法【その2】～陸生生物～

第3回講座 12月上旬予定：生態系保全活動の手法と技術

地域の農業振興や活性化に向けた体制づくりについての講座も予定しております。

啓発イベント

- ・生きものマップコンテスト
- ・啓発PRイベント

活動内容確認協議

今年度も活動組織の活動内容を確認し、必要に応じて指導を行います。

時期：10月～11月予定

9月末日までの書類等確認となる予定です。
今から書類整理を進めましょう。

積極的に参加しよう

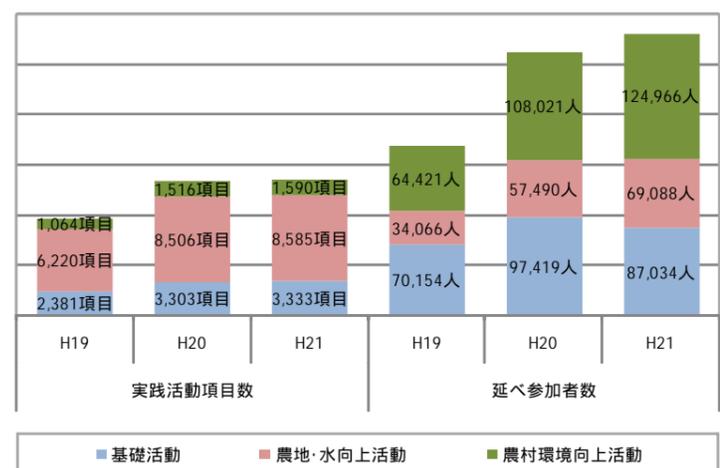
対策の中間年評価結果について

対策の中間年評価について審議するため、栃木県では、6月16日（水）に、県庁本館9階会議室において、「栃木県農村地域資源保全向上対策委員会」（第三者委員会）を開催しました。

委員会では、対策導入を契機に、地域住民全体で保全意識が高まるとともに、活動量・参加者数が大幅に増加、地域における話し合いや行事の回数も増加するなど、「農地・農業用水等の保全」、「農村環境の保全」、及び「地域コミュニティの醸成」の面で、**本対策が有効に作用しているとの評価**をまとめました。

県協議会としましては、この評価結果等を踏まえ県・市町をはじめ、関係機関・団体の方々と連携を図りながら、引き続き対策の質的向上を促進していきます。

本県における「実践活動項目数」及び「延べ参加者数」の推移



栃木県からのお知らせ

『とちぎのふるさと田園風景百選』への応募について

本県の豊かな田園風景を百年後に継承するとともに、元気な地域づくりの契機とするため、『とちぎのふるさと田園風景百選』の募集が行われています。

応募に要する経費は、支援交付金からの支出が可能ですので、**全ての活動組織で応募**し、環境保全や集落活性化に向けた取組をより一層促進していきましょう。

対象とする風景の例

農業生産に係る風景（農地、水路、ため池、農作業等）

農村生活に係る風景（集落、並木、花等）

上記の風景に関連し、一体となった祭り、伝統行事や地域交流活動等

募集期間：平成21年9月1日～平成22年9月30日

応募方法：必要事項を記載した応募申込書と風景写真（「四つ切」「A4サイズ」で4枚まで可）

応募先：風景の存する市町担当課



詳しくは、オフィシャルホームページを御覧ください。
<http://www.shimotsuke.co.jp/select/denen/>